

会 議 名	令和３年度第１回 木更津市駐屯地に関する協議会漁業協同組合部会		
開 催 日	令和３年７月２１日（水）	場 所	木更津市役所駅前庁舎 ８階会議室Ⅰ
時 間	午後３時３０分～午後４時１５分まで		
出席者	山口委員（木更津市企画部長・部会長）、高橋委員（金田漁業協同組合長）、江野澤委員（新木更津市漁業協同組合長）、高浦委員（新木更津市漁業協同組合参与） 藤田１等陸佐（陸上自衛隊第一ヘリコプター団副団長）、裏出２等陸佐（陸上自衛隊第一ヘリコプター団第三科長）		
議題	木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について（公開）		
その他	なし		
配付資料	01 会議次第 02 委員名簿及び出席者名簿 03 【資料１】木更津駐屯地に関する協議会の概要 04 【資料２】木更津駐屯地における陸自オスプレイの暫定配備について		
概要	議題 木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について 【説 明】 ●曾田木更津市企画課長説明 説明資料２に基づいて説明 【主な質疑応答・意見等】 高浦委員）夜間飛行の日程については、ホームページで確認できるとなっているが、早朝や夜間の飛行の時間帯はいつか。 裏出第三科長）訓練の内容を公表することによって機体の能力が明らかになってしまうことから、飛行の時間帯について、公表は差し控えたい。また、以前に、夜間にレーザーで照射されたということもあったことから、何時から何時まで飛行すると明確にお答えすることはできない。一方で、現在、夜間訓練を実施する際には、前月の月末にホームページで公表しているため、ご覧いただきたい。 高浦委員）木更津市内の５つの潮干狩り場のうち、江川海岸と久津間海岸は、潮干狩りが終わっているが、金田漁業協同組合、旧牛込漁業協同組合、旧木更津漁業協同組合は潮干狩りをまだ行っているため、潮干狩り客への対策と騒音対策をお願いしたい。 裏出第三科長）従来、潮干狩り場上空の飛行は避けるという配慮は行っており、また、訓練している部隊に対しても注意喚起をしている。天候や訓練内容によっては潮干狩り場上空を飛ぶということもあるが、基本的には安全面を優先して飛行している。 高浦委員）言いたいことは、極力飛ばないでほしいことと安全面を確保してほしいということである。 裏出第三科長）潮干狩りの際の騒音についてご指摘いただいたので、気になることがあれば部隊に連絡していただき、最大限出来る努力はしたいと考えている。 高浦委員）旧木更津漁業協同組合の海岸は、南側の滑走路の延長線上に潮干狩り場があるのでよろしくをお願いしたい。 山口部会長）各支所の意見を集約していただいたという理解でよいか。 江野澤委員）そうである。 山口部会長）陸自オスプレイの暫定配備に伴い、潮干狩り客等への配慮については、合意書の中で規定されているが、以前から、CH４７などの他の航空機についても、潮干狩り客の上を飛行しないという配慮はしていただいているということである。また、最初の質問で、早朝や夜間の飛行については、訓練や災害支援などがあると思うが、時間が公表できない、あるいは、特定できないというのは、実際に災害支援で運用する場合もあるし、訓練の運用時間を公表してしまうと、想定できないことが起こるかもしれないということか。		

	裏出第三科長) その通りである。また、操縦士の練度を上げる観点からも、夜間の飛行は必要不可欠である。 高浦委員) 繰り返しにはなるが、緊急時を除いて、通常、夜間訓練というのは何時まで飛ぶのか分かったら教えていただきたい。 裏出第三科長) 例えば、季節によって日没の時間は異なるし、また、訓練内容によって、1時間で終わる訓練もあれば、3時間近くかかる訓練もあるため、何時から何時までといった明確な時間をお答えすることはできない。一方で、無駄な訓練は一切行っていないというのはご理解いただきたい。 高浦委員) 人間が寝る時間は大体同じだと思っている。海の近くには漁師の家がけっこう並んでいて、そこを飛ばれるとうるさく感じるので、遅くて何時まで飛行するのか聞いた。 裏出第三科長) うるさいと感じた場合には、駐屯地に連絡していただきたい。最大限、配慮をしていきたい。 高橋委員) 潮干狩りの営業時間でも結構飛んでいるため、配慮していただきたい。駐屯地から飛び立って、海上を飛行して駐屯地に帰るオスプレイを見ていると、金田の陸側を通過して着陸しているような気がしている。現在、1機で飛んでいると思うが、1機でも騒音がすごい。今後、2機、3機と増えていって訓練をやる際は、配慮していただかないとすごい騒音になると思うため、その点はよろしくお願したい。 裏出第三科長) オスプレイの騒音の値については、CH47とほぼ同じくらいだが、騒音があるのは間違いないので、最大限配慮していきたい。 高橋委員) 値は同じかもしれないが、音の質が違うと思う。 裏出第三科長) オスプレイの方が、音が高い感じはある。 山口部会長) ただ今、CH47と陸自オスプレイの騒音レベルが同じという説明をしていただいたが、その説明は平成28年に騒音比較した際のデータか。それとも、最近比較してそういったデータが出たのか。 裏出第三科長) 平成28年のデータである。 山口部会長) 暫定配備されてから1年が経過した中で、実際にオスプレイを運用して、改めて、機体の安全性について説明していただきたい。 藤田副団長) 1機ずつ受入点検というものを実施しており、部品を一つ一つ確認している。その点検をクリアした機体のみ飛行しているので安心していただきたい。 山口部会長) 実際に隊員の方が飛行されて、オスプレイの安全性について、どのように考えているか、判断しているか教えていただきたい。 藤田副団長) 整備員が部品を一つ一つ点検した後に、整備確認飛行を操縦士が行っている。操縦士からも安全性については問題ないと聞いているため、安全な機体であるという認識である。 山口部会長) 資料2に記載されている、潤滑油の汚濁が原因で警告表示が出たのは、オスプレイに搭載されているシステムが高度なシステムであることにより警告表示が出たという認識でいいか。 藤田副団長) その通りである。一番問題なのは、警告表示が出ないまま飛行して大きな事故に繋がることである。我々としては、安全機能が正常に機能しているという判断である。 山口部会長) オスプレイが暫定配備される前に住民説明会等で色々な意見をいただいた。その中で特に多くあったのは、オスプレイの安全性への懸念、あとは、騒音と振動がどうなのかということである。オスプレイを1年運用した中で、安全性については先ほど説明していただいたが、基地の運用について、先ほどの説明の中で話は伺っているが、地域住民又は漁業関係者の方へ、通常の運用の中で、どのような配慮をしているか改めて説明をお願いしたい。 裏出第三科長) 早朝の訓練やホバリング訓練を実施する際には、海側で実施するといった配慮をしている。また、航空機の離着陸訓練を行う際には、訓練を行う機数の制限をしており、騒音を減らすような工夫をしている。 江野澤委員) 教育訓練について、どこかでシミュレーションをして、操縦方法を習ってから乗ると思うが、訓練時間はどのくらいなのか。
--	---

	裏出第三科長) 操縦士の能力に関わるこのため、訓練時間については回答ができない。 また、人によって訓練時間も違ってくるため、明確な訓練時間は回答できない。 江野澤委員) 教官は米国で訓練してきた人が教えているのか。 裏出第三科長) その通りである。最初から実機で訓練するわけではなく、シミュレーター等で教官が教えている。そこで安全を確認した上で実機へ移行となる。 江野澤委員) 生徒は米国に行かないのか。 裏出第三科長) 米国で訓練してきた教官がいるため、国内で養成している。 江野澤委員) 生徒だから素人で技量的にはまだまだか。 裏出第三科長) 素人といっても、他機種（CH47やUH1等）でかなりの時間操縦してきたベテランクラスのパイロットである。 高橋委員) 要望だが、なるべく夜の訓練は控えていただきたい。金田漁協の漁場全体が遠浅の盤洲干潟の中央にあるため、仮に事故があった場合、海上保安署の大きい船では対応が出来ないこともあると思う。そうすると、小型船舶を保有している当組合の組合員等が対応することになると思うが、夜遅いとは対応出来なくなることもあるのでお願いしたい。 裏出第三科長) 訓練の効果も含めて最大限配慮したい。 江野澤委員) 海上ではなく、東富士演習場で夜間訓練はできないのか。 裏出第三科長) 操縦士の能力を逐次向上させる必要があり、まずは、木更津飛行場周辺で慣らしていく必要がある。いきなり全然違うところでの訓練というのは安全面を考えるとリスクがあると考えているため、ご理解いただきたい。 山口部会長) 騒音への配慮という意見が多く出たと思われる。それに対して、駐屯地からも最大限配慮していただく旨説明があった。今後も、こちらからも情報提供をさせていただくが、市民の皆様からの声に耳を傾けていただき、駐屯地の皆様には対応をしていただくようお願いしたい。 高浦委員) 潮干狩り時期に、旧江川漁業協同組合の潮干狩り場の近くでオスプレイが海の方でホバリングしていたときに、松の葉が海に大量に飛んで行った。駐屯地に電話したら、たらい回しされて連絡が取れなかったことがあった。今回の議題とは違うことかもしれないが、そういったこともあったので対応をしっかりとっていただきたい。 裏出第三科長) 駐屯地内で情報共有する。 江野澤委員) 松食い虫で松が全部枯れてしまっている。松の木を切っていただけるとありがたい。 裏出第三科長) 去年も松の木は切っており、以前に比べると綺麗になったと考えている。今後も、逐一对応したいと考えている。 山口部会長) 繰り返しにはなるが、今後も地域の皆様からいただいた意見・懸念事項等については、可能な限り木更津駐屯地に対応していただければと思う。また、市の企画課にもそのような意見や懸念事項等あったら、連絡していただければと思う。 藤田副団長) 陸上自衛隊木更津駐屯地は、地元の皆様の理解あつてのことだと思っている。先ほどの電話のたらい回しなど色々問題点がある部分についてはしっかりと対応していく。 【その他】 無し
--	--